学環の概要

入学対象者

学部卒業者

学部教育を通じ健康、医療、食品、環境に対して関心を持っている者

社会人

専門性の追求 / スキルアップ / キャリアアップ / 課題解決

- 医療従事者
  - ・医師
  - ・歯科医師
  - ・薬剤師
- 医療政策人材
  - ・保健所職員
  - ・県、市町職員
- 環境、食品関係者
  - ・栄養士、管理栄養士
  - ・環境、食品企業関係者
  - ・県、市町職員

教育課程

融合科目（概論） ２単位（必修）
医農融合の公衆衛生教育への橋渡しを行い、教育カリキュラムの特徴について理解するとともに、様々な健康課題を解決するためには、「医」と「農」の融合が重要であることを学ぶ科目を履修

基礎科目（６単位）、大学院共通教育科目（１単位） 7単位（必修）
国際的な公衆衛生大学院設置基準に基づく５領域に関する基礎的な知識を学修するための科目を履修

発展科目（選択） 9単位以上
公衆衛生に関する知識を発展させた形で、講義・演習やグループ討論、現場実習による実践教育を行い、地域の様々な課題を抽出し、エビデンスに基づいたより良い施策や方針を提示できる能力を涵養する科目を履修

融合科目（演習） ４単位（必修）
「医」と「農」の融合により、公衆衛生上の地域課題を解決するため、食を通じた健康増進に関する知識・技能を修得する科目を履修

実践研究科目 ８単位（必修）
自分の興味や目指す将来像・キャリアパスに応じて、学生が自らの学びに応じた研究テーマ・課題を設定し、修士論文に取り組むための研究計画立案と継続的な研究指導を受ける

30単位

養成する人材像

① 公衆衛生の体系的な知識に加え、食を通じた健康増進に関する知識及び技能を有し、② 地域における様々な課題を認知して、科学的判断に基づいて解決策を講じる能力を備え、③ 多様な関係者と協力して、持続可能な健康施策を実現することができる専門職業人（公衆衛生人材）

修了後の進路

医療専門職
（医師・看護師・歯科衛生士　等）
科学的な知見に基づくデータ分析などにより、食を通じて健康をサポートする医療サービスや疾病予防

教育研究者
健康施策の体系化や医療データの要因分析、コーホート研究など、食と健康に関する研究推進

健康に関する実務者
（保健師・栄養士、行政職員 等）
公衆衛生の知識を基に、食生活を含めた健康指導など、健康増進に資する施策を担当

環境・食品関係従事者
食を通じた健康増進のスペシャリストとして、公衆衛生の知識を活用して健康関連商品等を企画・開発

幅広い分野へ公衆衛生人材を輩出し、
本学環修了者が核となって地域全体での**健康増進・疾病予防・感染症対策**等に寄与